

ベルンハルト・
グフレラー
Bernhard Gfreerer

オルガン・コンサート
Orgelkonzert
In 聖グレゴリオの家
in St. Gregor Haus



北ドイツのマイスター
ブクステフーデ
プレリュードとフーガ ト短調

バッハ
プレリュードとフーガ ホ短調 BWV 533
我、主イエス キリストを呼ぶ BWV 639
他

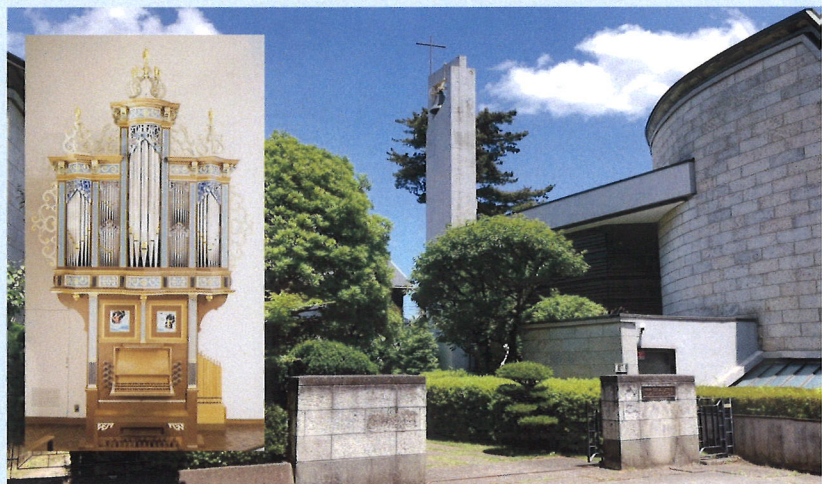
知られざるモーツァルトの名曲

レチタティーヴォ「それ故に大切なことは」
アリア「高きを求め」 KV 143(73a)
ソプラノ独唱 牧野 華林

行進曲 ハ長調 KV 408

フリーメイソンの為の葬送曲 KV 477

6つのドイツ舞曲 KV 509 他



2025/8/31(日) 14:30 14:00開場

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所 聖堂

入場料 3,500円 (全席自由)

主催：所沢バッハ・アカデミー

◇ チケットのお求めは

聖グレゴリオの家
アカデミー事務局

042-474-8915

042-315-4482

オルガン ベルンハルト・グフレラー



ザルツブルク生まれ。モーツァルテウム音楽大学を満場一致の優秀な成績で卒業し、ウィーンの科学文化省から奨励賞を授与される。

1987年より、ザルツブルクのフランツィスカナ教会の教会音楽監督。

コンサート・ツアーでは、パリ、ベルリン、マドリッド、ローマ、ローマなど、世界の主要都市や音楽の中心地を訪れている： パリ、ベルリン、マドリッド、ローマ、ナポリ、ミラノ、ヴェネツィア、チューリヒ、ローザンヌ、バーゼル、バルセロナ、バレンシア、ハンブルク、ミュンヘン、コペンハーゲン、サンクトペテルブルク、ワルシャワ、ブダペスト、ヴィリニウス、プラハ、北京、モスクワ、カイロ、マイアミ、ボゴタ、リオデジャネイロ、サンパウロ、東京、香港、大阪など。

ベルンハルト・グフレラーは、マスタークラス（スペイン、イタリア、ポーランド、日本、ブラジル、コロンビア、アメリカ）のゲスト講師として世界各地で教えているほか、国際音楽コンクールの審査員も務めている。数々のCD録音（EMICOLONビアからリリースされた「モーツァルト・オルガン作品集」を含む）、ヨーロッパ各国、ブラジル、アメリカ、ロシア、中国、日本でのコンサート放送は、彼の芸術家としての成功の軌跡を物語っている。

ソプラノ 牧野 華林



オーストリア、ザルツブルク生まれ。上野学園大学音楽学部音楽学科声楽コース卒業。洗足学園音楽大学、大学院音楽研究科声楽専攻終了。大学在学中の2015年学内演奏会「春の演奏会2015」に学内選抜でソリストとして出演。2017年「上野学園大学恵生会新人演奏会」に出演。同年「所沢バッハ・アカデミー第30回定期演奏会」において、バッハ《マニフィカート》のソリストとして出演。2018年「那須カンマーコア定期演奏会」に、シューベルト《ミサ G-Dur D167》のソリストとして出演。これまでに、須永尚子、臼木あい、村上曜子、小泉恵子、ジョン・トマソンの各氏に師事。2022年、ザルツブルク モーツァルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミー修了演奏会出演、絶賛される。

ザルツブルク・フランツィスカナ教会客演歌手。

聖グレゴリオの家

宗教法人 聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所は、小さき兄弟会（フランシスコ会）の故グレオン・ゴールドマン神父（Gereon Goldmann OFM, 1916-2003）によって、1979年に設立された、キリスト教音楽の学び舎です。

聖グレゴリオの家では、グレゴリオ聖歌をはじめ、さまざまな時代の宗教声楽と合唱音楽、オルガン音楽、古楽器演奏、ピアノ音楽などを、一流の講師陣の下で学ぶことができます。

教育とともに、祈りの実践も、聖グレゴリオの家の活動の重要な柱です。

毎日曜日、午前10時30分からは、グレゴリオ聖歌の奉唱によるミサ（聖餐式）が祝われます。聖グレゴリオの家は、日本で唯一、年間を通して典礼の中でネウマ譜に基づくグレゴリオ聖歌が歌われている機関としても知られています。

